TV チューナー付きキャプチャボード

PC-MV3S/PCI

ユーザーズマニュアル

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

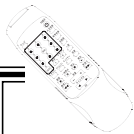
表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品を取り扱う際に特に注意してすべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

・本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
　A:フロッピードライブ
　C:ハードディスク
　E:CD-ROMドライブ
・文中［　］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。
・文中<　>で囲んだ名称は、キーボード上のキーを表しています。（例）<Enter>
・Microsoft Windows Millennium EditionをWindowsMeと表記しています。
・Microsoft Windows 98 Second EditionをWindows98SEと表記しています。

■ 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。
■ BUFFALO™は株式会社バッファローの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
本書では、™、®、©などのマークは記載していません。
■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
■ 本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

リモコンの使い方

本製品には、リモコンが同梱されています。このリモコンを使用すれば、テレビを見たり、録画したりすることができます。ボタン名称と働きは、ボタン上に記載されています。

⚠注意
- リモコンを操作するには、本製品のセットアップと添付ソフト「WinDVR」のインストールが必要です。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部にリモコンを向け操作してください。
- ボタンに記載の操作は一部使用できないものがあります。

テレビボタン
WinDVR を起動します。

チャンネルボタン
チャンネルを選択します。ボタンに記載されている矢印などの操作はできません。

表示ボタン
現在の設定（チャンネル、映像入力）を表示します。

スキャンボタン
表示可能なチャンネルを検索します。

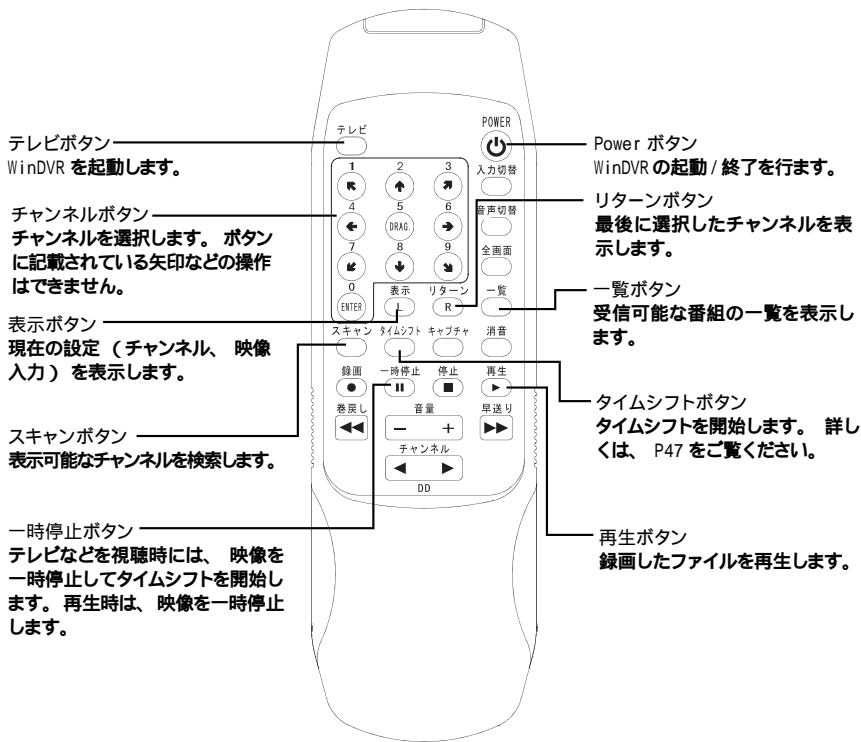
一時停止ボタン
テレビなどを視聴時には、映像を一時停止してタイムシフトを開始します。再生時は、映像を一時停止します。

Power ボタン
WinDVR の起動 / 終了を行ます。

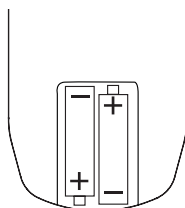
リターンボタン
最後に選択したチャンネルを表示します。

一覧ボタン
受信可能な番組の一覧を表示します。

タイムシフトボタン
タイムシフトを開始します。詳しくは、P47 をご覧ください。

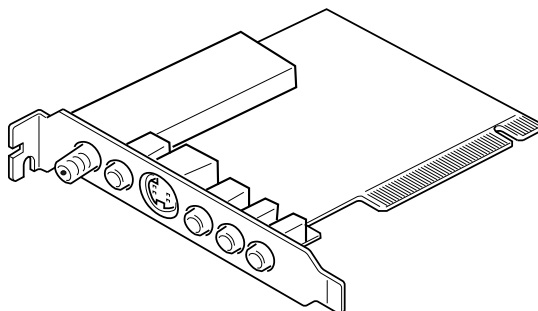
再生ボタン
録画したファイルを再生します。

電池について

電池を入れるときは、リモコン裏面下部のカバーを外し、右図のように単 4 マンガン電池を入れてください。

メモ　出荷時状態ではリモコンに電池は入っていません。付属の電池を入れてください。なお、付属の電池は動作確認用です。できるだけ早く新しい電池にお取替えください。

使ってみよう

本書では、本製品の操作例を以下のページに記載しています。

⚠注意 **本製品の操作は、本製品のセットアップと添付ソフトのインストールが終わってから行ってください。セットアップやインストール前では操作できません。**

メモ 本書で紹介している操作の他にも、様々な操作を行うことができます。詳しくは、各ソフトウェアのPDFファイルやヘルプを参照してください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 危険	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重症を負う危険が差し迫って生じる可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。（例：⚠ 感電注意）
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：⃠ 分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：● プラグをコンセントから抜く）

⚠ 危険

電池を取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 分解、改造しない。
- 電極の（＋）と（－）を針金等の金属で接続しない。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしない。
- 火の中に入れたり、過熱したりしない。
- 釘を刺したり、かなづちでたたいたり、踏みつけたりしない。

以上のことを守らないと、液漏れ・発熱、発火、破裂し、やけど・けがをする恐れがあります。

⚠警告

電池を取り扱うときは、次のことを守ってください。

・分解・改造・修理・充電しない。
・使用した電池と未使用の電池、種類の異なる電池、異なるメーカの電池を混在して使用しない。
・電極の（＋）と（－）を間違えて挿入しない。
・消耗しきった電池を入れたままにしない。

以上のことを守らないと、液漏れ・発熱、発火、破裂し、やけど・けがをする恐れがあります。

電池内部の液が漏れたときは、液に触れないでください。

やけどの恐れがあります。もし、液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

電池を使用・交換するときは、指定の電池を使用してください。

指定以外の電池を使用すると、液漏れ・発熱・破裂し、やけど・けがをする恐れがあります。

パソコンの使用直後は、パソコン内部の部品に手を触れないでください。

特にCPUやVGAチップが高温になっており、手を触れるとやけどをする恐れがあります。パソコンの電源スイッチをOFFにした後、30分以上たってから作業することをおすすめします。

液体や異物が内部に入ったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電・故障する恐れがあります。

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする恐れがあります。

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカおよび周辺機器メーカが提示する警告・注意指示に従ってください。

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。

火災・感電・故障の恐れがあります。また、本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁 止

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

本製品は精密な機器ですので、衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください。衝撃は本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く

本製品の取り付け／取り外しをするときは、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

電源プラグがコンセントに接続されたまま、取り付け／取り外しを行うと、感電および故障の原因となります。

⚠注意

強 制

本製品を長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。

電池の発熱や液漏れにより、火災やけが、周囲が汚れるなどの原因になります。

禁 止

液漏れの発生した電池は使用しないでください。

そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

禁 止

濡れた手で本製品に触れないでください。

パソコンおよび周辺機器の電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても故障の原因となります。

強 制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損させる恐れがあります。

禁 止

ハードディスク、MOドライブ、フロッピーディスクドライブなどの、データの格納用機器へのアクセス中は、パソコンや機器の電源をOFFにしたり、リセットしないでください。

データを消失・破損する恐れがあります。データが消失、破損したことによる損害については、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制

ハードディスク内のデータは、必ず他のメディア（フロッピーディスク、MOディスク等）にバックアップしてください。

とくに、修復・再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前・更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。次のような場合に、データが消失・破損する恐れがあります。

・誤った使い方をしたとき
・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
・故障、修理などのとき
・パソコンの電源スイッチをOFFにした直後に、すぐに電源スイッチをONにしたとき
・長時間使っていなかったために電池が自然放電したとき
・天災による被害を受けたとき

上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制

本製品の取り付け／取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のデータをすべてMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。
バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

禁止

アプリケーションソフトの動作中にパソコンの電源スイッチをOFFにしたり、リセットしないでください。

データが消失・破損する恐れがあります。データが消失、破損したことによる損害については、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

・強い磁界が発生するところ
・静電気が発生するところ
・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
　→故障の原因となります。
・振動が発生するところ
　→けが、故障、破損の原因となります。
・平らでないところ
　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
・直射日光が当たるところ
・火気の周辺、または熱気のこもるところ
　→故障や変形の原因となります。
・漏電または漏水の危険があるところ
　→故障や感電の原因となります。

強制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目 次

はじめに

本製品を使用する前に知っておいていただきたい事を説明しています。

特長

● 10bit高画質A/D搭載
10bitのA/Dを搭載しているため、高画質で動画を取り込むことができます。

● ステレオ/2ヶ国語対応TVチューナー搭載
本製品に搭載のTVチューナーでステレオ/2ヶ国語の音声を楽しむことができます。

● Mpeg1/Mpeg2圧縮形式の予約録画が可能
ファイルサイズの小さいMpeg1/Mpeg2圧縮形式での予約録画ができます。

● 追いかけ再生機能（タイムシフト）搭載
追いかけ再生機能（タイムシフト）により、見逃したシーンを後から見ることができます。

● iEPG機能搭載
インターネット上の番組表を利用して、簡単に録画できます。

● reserMail同梱
外出先から携帯電話（iモードまたはJ-SKYまたはEZweb対応機種に限る）から録画予約できます（株式会社アイラテの有料サービスです）。

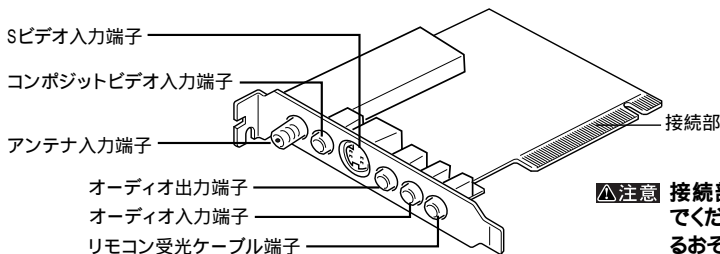
● ライティングソフト機能付編集ソフト同梱
CMカットやDVDオーサリングなどの編集が可能です。

● アンテナ分配器、ケーブル同梱
すぐに使えるようにアンテナ分配器、ケーブルを同梱しています。

パッケージ内容

パッケージには次のものが梱包されています。万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

●PC-MV3S/PCI（本体） 1枚

⚠注意 **接続部には絶対に触らないでください。本製品が故障するおそれがあります。**

●オーディオケーブル（0.3m） 1本
●リモコン 1個
●リモコン用受光ケーブル（1m） 1本
●単4マンガン電池（リモコン用） 2本
●アンテナ分配器 1個
●アンテナケーブル（3m、1m） 各1本
●ユーティリティCD 1枚
●ユーザーズマニュアル（本書） 1冊
●ユーザ登録カード（ユーリードシステムズ株式会社） 1枚

※ ユーザ登録カードは、必要事項をご記入の上、必ずユーリードシステムズ株式会社までご郵送ください。

※ 本製品を梱包している箱には、保証書と本製品の修理ついての条件を定めた約款が記載されています。お客様が無償修理を要求する場合に必要となりますので、大切に保管してください。

※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

本製品を使うための基礎知識

リソースの割り当て

パソコンに機器を増設する場合は、それぞれの機器に「リソース」を割り当てる必要があります。リソースとは、CPUと機器の間で情報をやりとりするためのものであり、パソコンが機器を正しく動作させるために必要なものです。リソースには、割り込み要求(IRQ)、ダイレクト メモリ アクセス(DMA)、I/Oポートアドレスなどがあり、それぞれ数に限りがあります。

リソースは機器ごとに違う値を割り当てる必要があり、他の機器に割り当てられているリソースを割り当てる(リソースが競合する)と機器が正しく動作しません。

PCIバス用ボードはプラグ アンド プレイに対応しているため、BIOSがリソースを自動的に割り当てます。本製品はPCIバス用ボードなので、通常はリソースの設定をする必要がありません。

● プラグ アンド プレイに対応していない拡張ボードを使用している場合
プラグ アンド プレイに対応していない拡張ボード(※1)を使用している場合は、対応していない拡張ボードのリソースをあらかじめ固定してください。DOS/V機の場合はBIOSセットアップ(※2)でリソースを固定します。詳しい方法は、パソコン本体のマニュアルを参照してください。
例として、「AWARD BIOS」を搭載したDOS/V機で、ISAバス用ボードに割り当てるIRQを5に固定する方法を説明します(※3)。

※1 DOS/V機のISAバス用ボードには、プラグ アンド プレイに対応していないものがあります。プラグ アンド プレイに対応しているかどうかは、ボードメーカにお問い合わせください。

※2 BIOSセットアップの名称は、パソコンが搭載するBIOSによって異なります。

※3 BIOSセットアップの操作方法や設定項目は、BIOSの種類によって異なります。また、同じ種類のBIOSでも、BIOSのバージョンなどの違いにより異なる場合があります。詳しくは、パソコンのマニュアルを参照してください。

1 パソコンの電源をONにします。画面に「Press DEL to enter SETUP」と表示されたら<Delete>キーを押します。

「CMOS SETUP UTILITY」(BIOSセットアップ)が起動します。

2 「PNP/PCI CONFIGURATON」を選択し、<Enter>キーを押します。

3 「Resources Controlled By」を選択し、<PageUp><PageDown>キーで「Manual」に設定します。

4 「IRQ-5 assigned to :」を選択し、「PCI/ISA PnP」から「Legacy ISA」に<PageUp><PageDown>キーで変更します。

5 <Esc>キーを押します。

6 「SAVE & EXIT SETUP」を選択し、<Enter>キーを押します。

次のページへ続く

7 「Save to CMOS and EXIT (Y/N)?」と表示されたら<Y>キーを押します。メッセージの後に「y」と表示されているのを確認し、<Enter>キーを押します。

変更した内容が保存され、BIOSセットアップが終了します。

● 古いパソコンを使用している場合
パソコンに搭載されているBIOSが古いため、プラグ アンド プレイが正しく働かないことがあります。この場合は、BIOSをアップデートしてください。BIOSのアップデート方法は、パソコンメーカにお問い合わせください。機種によってはBIOSのアップデートが行えない場合があります。また弊社でも、PCパワーアップ宅配便でBIOSのアップデートを承っております(PCパワーアップ宅配便は有料サービスです)。

● どうしてもリソースの競合が回避できない場合
本製品を含む各PCIバス用ボードを取り付けるスロットの位置を変更してください。また、使用していない機器をパソコンから取り外してください。

PC98-NXシリーズでの使用

● CyberTrio-NXがインストールされている機種では、CyberTrio-NXをアドバンストモード以外のモードで使用していると、本製品のドライバをインストールできないことがあります。パソコンのマニュアルを参照し、ドライバをインストールする前に、必ずアドバンストモードに変更してください。

メモ CyberTrio-NXとは、パソコンを使う人ごとに、Windowsの動作範囲やアクセスできるフォルダを限定するための機能を持ったソフトです。CyberTrio-NXがインストールされていると、タスクバーにCyberTrio-NXのインジケータが表示されます。詳しくは、パソコン本体のマニュアルを参照してください。

● スリープボタンは使用しないでください。
スリープボタンでのサスペンド/レジューム機能(消費電力を減らすための機能)を使用すると、システムが正常に動作しなくなることがあります。

※ サスペンド/レジューム機能によってシステムが正常に動作しなくなったときは、Windowsを再起動してください。

DMA設定

ハードディスクがDMA転送(*)をするように設定します。

* CPUを介さずにアクセスする高速な転送方式

※パソコンの機種によってはDMA転送に対応していないものもあります。パソコンのマニュアルを参照してください。

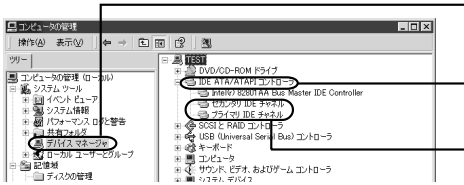
※ PC98-NXシリーズをお使いのときは、次の操作をする前にCyberTrio-NXをアドバンストモードに変更してください。【P11】

■ WindowsXP/2000の場合

1 デスクトップ画面の[マイ コンピュータ]アイコンにマウスのカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックします。

2 メニューが表示されたら[管理]をクリックします。

次のページへ続く

3

① [デバイスマネージャ]をクリックします。

② [IDE ATA/ATAPI コントローラ]をダブルクリックします。

③ ハードディスクを接続しているチャネル(セカンダリまたはプライマリ)をダブルクリックします。

4

① [詳細設定]タブをクリックします。

② [転送モード]の ▼ をクリックし、[DMA(利用可能な場合)]を選択します。

※ ハードディスクをマスタとして接続しているときは、[デバイス0]の設定を変更してください。スレーブとして接続しているときは、[デバイス1]の設定を変更してください。

③ [OK]ボタンをクリックします。

5 **メッセージに従ってシステムを再起動します。**

⚠注意 **パソコンの機種によっては、DMA転送に非対応で、ハードディスクのデータが正しく読み出せないことがあります。その場合は、上記の[転送モード]を[PIOモード]に設定してください。**

■ WindowsMe/98SE の場合

1 **[マイ コンピュータ]アイコンにマウスカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックします。**

2 **表示されたメニューから[プロパティ]をクリックします。**

3 **[システムのプロパティ]ダイアログボックスが表示されたら、[デバイス マネージャ]タブをクリックします。**

4 **[ディスク ドライブ]をダブルクリックします。**

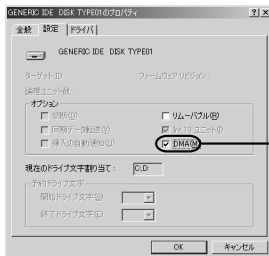
5 **お使いのハードディスクをダブルクリックします。**

次のページへ続く

6 **[（お使いのハードディスク）のプロパティ]が表示されたら、[設定] タブをクリックします。**

7 **[□ DMA]をクリックしてチェックマーク(✓)を付けます。**

DMA転送に対応していない機種では、[□ DMA]のチェックボックスがないかグレー表示になっています。

8 **[OK] ボタンをクリックし、メッセージに従ってシステムを再起動します。**

⚠注意 **お使いのパソコンによっては、DMA転送に設定を変更すると、読み込みが正常にできない、Windowsが正常に起動しないなどの現象が起こることがあります。お使いの環境がDMA転送に対応しているかどうかはパソコンメーカーにご確認ください。このようなときはDMAのチェックボックスのチェックマーク(✓)を外してください。Windowsが起動しない場合は、「困ったときは」の「DMAを設定後、Windowsが起動しない」(P55)を参照してDMAの設定を解除してください。**

WindowsMe をお使いの方へ

本製品を取り付ける前にDirectX8.1以降をインストールする必要があります。DirectX8.1以降がインストールされていない場合は、以下の手順でインストールしてください。

1 **ユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットします。**

自動的に簡単セットアップの画面が表示されます。表示されない場合は、ユーティリティCD内の アイコン(EASYSETUP.EXE)をダブルクリックしてください。

2 **[DirectX8.1のインストール] を選択し、[開始]をクリックします。**

以降は画面に従ってインストールしてください。

1

はじめに

Windows98SEをお使いの方へ

Windows98SEで本製品をお使いになる場合、ユーティリティCD内の「DRIVERS」フォルダにある「WIN9X」フォルダをハードディスクにコピーする必要があります。以下の手順で[WIN9X]フォルダをハードディスクにコピーしてください。

⚠注意 コピーした[WIN9X]フォルダは、ドライバのインストールで必要となります。コピーした場所を忘れないようにメモしておいてください。

1 **ユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットします。**

簡単セットアップが起動した場合は、[終了]をクリックしてください。

2 **マイコンピュータをダブルクリックします。**

3 **CD-ROMドライブを右クリックし、[開く]を選択します。**

4 **[DRIVERS]フォルダをダブルクリックします。**

5 **[WIN9X]フォルダをハードディスクにコピーします。**

以上で[WIN9X]フォルダのコピーは終了です。

作業のながれ

次の手順で作業を進めてください。

パソコン→周辺機器の順に電源スイッチをOFFにする

▼

パソコンのカバーを外し、本製品を取り付ける【P15】

▼

カバーを元どおり取り付け、本製品にAV機器を接続する【P16】

▼

周辺機器→パソコンの順に電源スイッチをONにする

▼

本製品のドライバをインストールする【P17】

▼

付属ソフトウェアをインストールする【P24】

取り付け

本製品をパソコンに取り付け、AV 機器を接続します。

取り付けるときの注意

- 取り付ける前に、必ずパソコン本体と周辺機器の電源スイッチを OFFにしてください。
- 大切なデータを守るため、パソコンの電源スイッチをOFFにする前にアプリケーションをすべて終了し、ハードディスク内のデータを他のメディア（フロッピーディスクなど）に保存してください。
- パソコン内部の温度が下がってから作業してください。
  CPUなど、パソコンの内部には使用時に高温になる部分があります。取り付け作業は、パソコンの電源スイッチをOFFにして30分以上待ち、内部の温度が下がったことを確認してから行ってください。
- 本製品やパソコン内部の部品に触れる前に、ドアノブやアルミサッシなどに手を触れて、身体にたまった静電気を取り除いてください。
- パソコン本体に、本製品が取り付けられる空きがあるかどうかを事前に確認してください。また、パソコンの電源容量が十分かどうか確認してください。

本製品の取り付け

パソコンのPCI バススロットに本製品を取り付けます。

※ パソコンによって取り付け手順が異なります。必ずパソコン本体のマニュアルも参照してください。

1 パソコン本体→周辺機器の順に電源スイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから取り外します。ケーブル類とパソコン本体のカバーも取り外します。

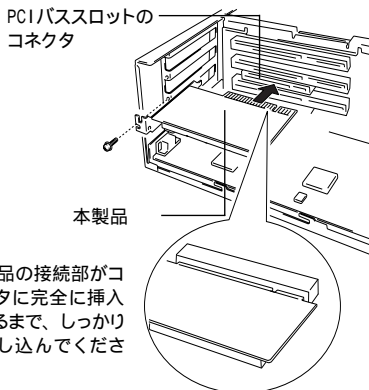
詳しい手順はパソコン本体のマニュアルを参照してください。

2 PCIバススロットのカバーを取り外します。

取り外したねじは本製品を固定するときに使用します。紛失しないように注意してください。取り外したスロットカバーは大切に保管してください。

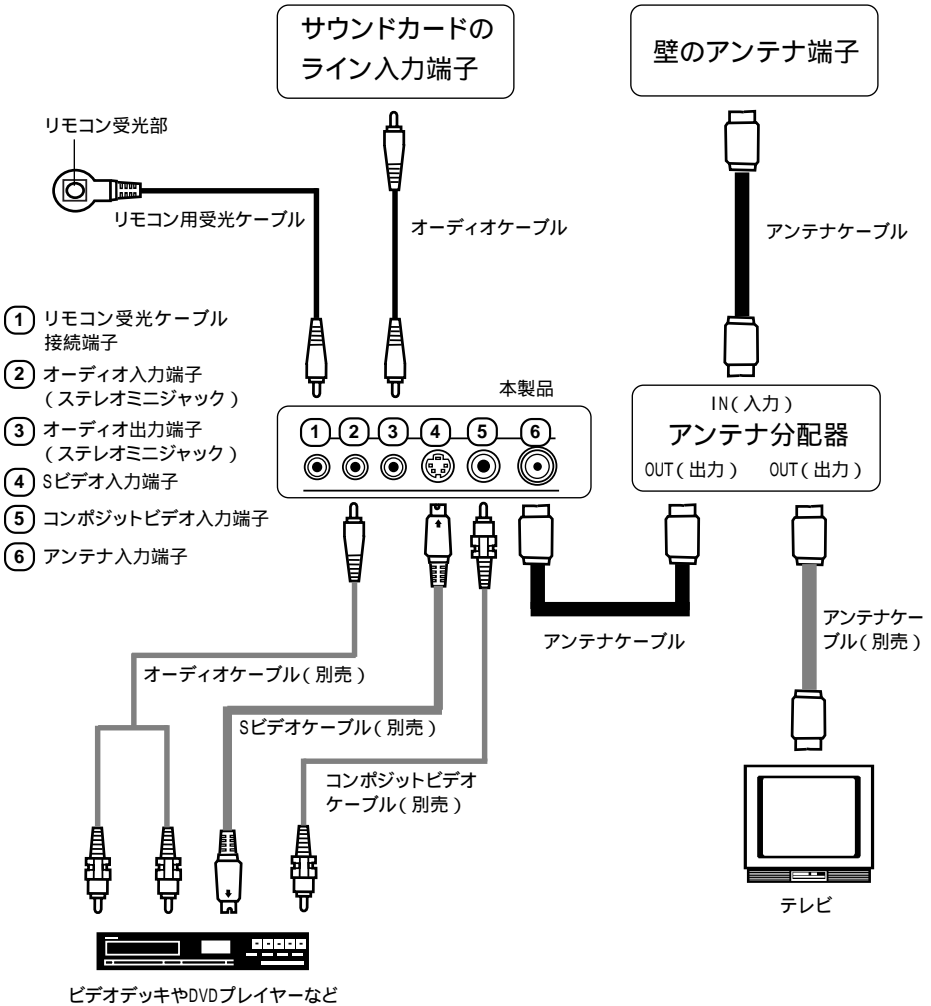
3 本製品をPCIバススロットのコネクタに差し込みます。

コネクタに完全に挿入されるまでしっかりと押し込んでください。

4 2で取り外したねじで本製品を固定します。

以上で本製品の取り付けは完了です。

次へ AV機器を接続します。【P16「AV機器の接続」】

AV 機器の接続

ビデオデッキなどのAV機器を本製品に接続します。

⚠注意 ・アンテナケーブルを壁のアンテナ端子に接続できない場合や、壁にアンテナ端子がない（アンテナケーブルが壁からでている）場合は、別途変換アダプタ等をご用意ください。
・リモコン受光部は、リモコンを操作する方向に向けてください。リモコンを操作する方向に向いていないと、リモコンで操作できないことがあります。

メモ ・サウンド機能がない（ライン入力端子がない）システムでは、音声つきの動画ファイルを作成できません。必要に応じてサウンドボードを用意してください。
・リモコン受光部の裏面には両面テープがついており、固定したい場所に貼りつけることができます。

次へ 本製品のドライバをインストールします。【P17】

3 ドライバのインストール

ドライバ（本製品を使用するためのソフトウェア）のインストール手順を説明しています。

OSによってドライバのインストール手順は異なります。

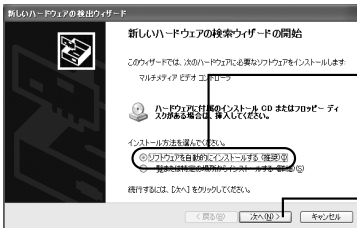
WindowsXPへのインストール

メモ ・事前に、本製品をパソコンに取り付けてください。【P15「取り付け」】
・画面は実際に表示される画面と異なることがあります。

1 WindowsXPを起動し、コンピュータの管理者権限があるユーザー名でログオンします。

本製品が認識され、[新しいハードウェアの検出ウィザード]が起動します。

注意 **Windowsの設定変更が可能な（administratorの権限を持つ）ログオン名でログオンしてください。それ以外のログオン名ではドライバをインストールできません。**

2

① 付属CDをCD-ROMドライブに挿入します。

② ［ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）］が選択されていることを確認します。

③ ［次へ］をクリックします。

3

［続行］をクリックします。

※ このドライバの動作テストは弊社にて行っています。2003年5月現在、このドライバに対してWindowsロゴテストは行われていませんが、製品は正常に動作します。

次のページへ続く

4 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されたら、[完了]をクリックします。

「(略)今すぐ再起動しますか?」と表示された場合

「(略)今すぐ再起動しますか?」と表示された場合、[はい]をクリックして再起動してください。

5 手順2～4を2回繰り返し行います。

以上でドライバのインストールは完了です。

メモ ドライバをインストールすると、[デバイス マネージャ]の[サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ]に本製品が次のように登録されます(3つ登録されます)。

MELCO INC. PC-MV3S/PCI WDM Video Capture
MELCO INC. PC-MV3S/PCI WDM Tuner
MELCO INC. PC-MV3S/PCI WDM Crossbar

※ [デバイス マネージャ]は、次の方法で表示できます。
[マイ コンピュータ]アイコンを右クリック→[管理]をクリック→[デバイス マネージャ]をクリックします。

※ 登録された本製品のアイコンに「!」が付いている場合は、インストールに失敗しています。ドライバをアンインストール(P23)した後、再度インストールを行ってください。

Windows2000へのインストール

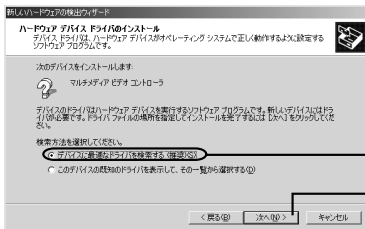
メモ ・事前に、本製品をパソコンに取り付けてください。【P15「取り付け」】
・画面は実際に表示される画面と異なることがあります。

1 Windows2000を起動し、コンピュータの管理者権限があるユーザー名(Administratorなど)でログオンします。

本製品が認識され、[新しいハードウェアの検出ウィザード]が起動します。

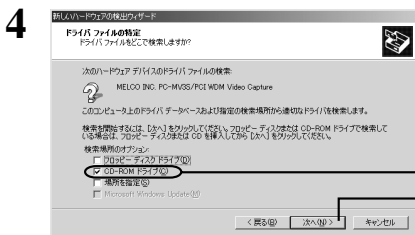
注意 **Windowsの設定変更が可能な(administratorの権限を持つ)ログオン名でログオンしてください。それ以外のログオン名ではドライバをインストールできません。**

2 [次へ]をクリックします。

3

① [デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]が選択されていることを確認します。

② [次へ]をクリックします。

次のページへ続く

4

① 付属CDをCD-ROMドライブに挿入します。

② ［CD-ROMドライブ］をクリックし、チェックマーク（✓）を付けます。

③ ［次へ］をクリックします。

5 「このデバイスのドライバが見つかりました。このドライバをインストールするには、［次へ］をクリックしてください。」と表示されたら、［次へ］をクリックします。

6

［はい］をクリックします。

※ マイクロソフト社によってWindows上での動作が確認されたソフトウェアには、デジタル署名が付けられています。2003年5月現在、このドライバにはデジタル書名が付けられていませんが、製品は正しく動作します。

7 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されたら、［完了］をクリックします。

「（略）今すぐ再起動しますか?」と表示された場合

「（略）今すぐ再起動しますか?」と表示された場合、［はい］をクリックして再起動してください。

8 手順2～7の手順を2回繰り返します。

以上でドライバのインストールは完了です。

メモ ドライバをインストールすると、［デバイス　マネージャ］の［サウンド、ビデオ、およびゲーム　コントローラ］に本製品が次のように登録されます（3つ登録されます）。

MELCO INC. PC-MV3S/PCI WDM Video Capture
MELCO INC. PC-MV3S/PCI WDM Tuner
MELCO INC. PC-MV3S/PCI WDM Crossbar

※ ［デバイス　マネージャ］は、次の方法で表示できます。
［マイ コンピュータ］アイコンを右クリック→［管理］をクリック→［デバイス　マネージャ］をクリックします。

※ 登録された本製品のアイコンに「!」が付いている場合は、インストールに失敗しています。ドライバをアンインストール（P23）した後、再度インストールを行ってください。

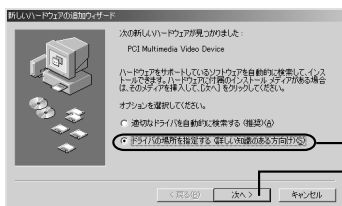
3 ドライバのインストール

WindowsMeへのインストール

メモ ・DirectX8.1以降をインストールしていない場合は、簡単セットアップからDirectX8.1をインストールしてください。インストールされていない環境では、システムが停止することがあります。【P13「WindowsMeをお使いの方へ」】
・事前に、本製品をパソコンに取り付けてください。【P15「取り付け」】
・画面は実際に表示される画面と異なることがあります。

1 **周辺機器→パソコンの順に電源スイッチをONにします。**

本製品が認識され、[新しいハードウェアの追加ウィザード] が起動します。

2

① [ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）] を選択します。

② [次へ] をクリックします。

3 **付属のCDをCD-ROMドライブにセットします。**

4

① [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）が選択されていることを確認します。

② [検索場所の指定] のみにチェックマーク（✓）を付け、「E:\DRIVERS\WIN9X」（E:部はCD-ROMドライブがE:の場合）を指定します。

③ [次へ] をクリックします。

5 **「デバイス用のドライバファイルの検索（略）」と表示されたら、[次へ] をクリックします。**

「コピーするファイルより新しいファイルがコンピュータに存在します。（略）」と表示された場合

「コピーするファイルより新しいファイルがコンピュータに存在します。（略）」と表示された場合、[はい] をクリックしてください（この画面は複数回表示される場合があります）。

6 **「新しいハードウェアのインストールが完了しました。」と表示されたら、[完了] をクリックします。**

次のページへ続く

7　手順2～6を2回繰り返します。

以上でドライバのインストールは完了です。

メモ ドライバをインストールすると、[デバイス　マネージャ]の[サウンド、ビデオ、およびゲーム　コントローラ]に本製品が次のように登録されます（3つ登録されます）。

MELCO INC. PC-MV3S/PCI WDM Video Capture
MELCO INC. PC-MV3S/PCI WDM Tuner
MELCO INC. PC-MV3S/PCI WDM Crossbar

※ [デバイス　マネージャ]は、次の方法で表示できます。
[マイ　コンピュータ]アイコンを右クリック→[プロパティ]をクリック→[デバイス　マネージャ]をクリックします。

※ 登録された本製品のアイコンに「!」が付いている場合は、インストールに失敗しています。ドライバをアンインストール（P23）した後、再度インストールを行ってください。

Windows98SEへのインストール

本製品をインストールする前に、付属CD内の「DRIVERS」フォルダにある「WIN9X」フォルダをハードディスクにコピーしてください。【P14「Windows98SEをお使いの方へ」】

メモ
・事前に、本製品をパソコンに取り付けてください。【P15「取り付け」】
・画面は実際に表示される画面と異なることがあります。

1　周辺機器→パソコンの順に電源スイッチをONにします。

本製品が認識され、[新しいハードウェアの追加ウィザード]が起動します。

2　「次の新しいドライバを検索しています（略）」と表示されたら[次へ]をクリックします。

3

① [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]が選択されていることを確認します。

② [次へ]をクリックします。

4

① [検索場所の指定]をクリックしてチェックマーク（✓）を付け、付属のCDからコピーした「WIN9X」フォルダを指定します。

② [次へ]をクリックします。

次のページへ続く

MELCO INC. PC-MV3S/PCI WDM DriversのCD-ROMが要求された場合

［OK］をクリックします。

メモ 「MELCO INC. PC-MV3S/PCI WDM Drivers CD-ROM上の（中略）が見つかりませんでした。」と表示されたときは、［ファイルのコピー元:］に付属のCDからコピーした「WIN9X」フォルダ場所を入力し、［OK］をクリックします。

5 「次のデバイス用のドライバファイルを検索します（略）」と表示されたら、［次へ］をクリックします。

Windows98SEのCD-ROMが要求された場合

① Windows98SEのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

② ［OK］をクリックします。

メモ 「Windows98 Second Edition CD-ROM上の（中略）が見つかりませんでした。」と表示されたときは、［ファイルのコピー元:］に「E:\WIN98」(E:\ ...のEはCD-ROMドライブ名)と入力し、［OK］をクリックします。

「コピーするファイルより新しいファイルがコンピュータに存在します（略）」と表示された場合

「コピーするファイルより新しいファイルがコンピュータに存在します。（略）」と表示された場合、［はい］をクリックしてください（この画面は複数回表示される場合があります）。

6 「新しいハードウェア　デバイスに必要なソフトウェアがインストールされました」と表示されたら、［完了］をクリックします。

7 手順2～6を2回繰り返します。

以上でドライバのインストールは完了です。インストールが完了したら、ハードディスクにコピーした［WIN9X］フォルダを削除してください。

メモ ドライバをインストールすると、［デバイス　マネージャ］の［サウンド、ビデオ、およびゲーム　コントローラ］に本製品が次のように登録されます（3つ登録されます）。

MELCO INC. PC-MV3S/PCI WDM Video Capture
MELCO INC. PC-MV3S/PCI WDM Tuner
MELCO INC. PC-MV3S/PCI WDM Crossbar

※ ［デバイス　マネージャ］は、次の方法で表示できます。
［マイ コンピュータ］アイコンを右クリック→［プロパティ］をクリック→［デバイス　マネージャ］をクリックします。

※ 登録された本製品のアイコンに「!」が付いている場合は、インストールに失敗しています。ドライバをアンインストール（P23）した後、再度インストールを行ってください。

ドライバのアンインストール

本製品のドライバをアンインストールするときは、以下の手順を行ってください。

1 ユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットします。

自動的に簡単セットアップの画面が表示されます。表示されない場合は、ユーティリティCD内の アイコン(EASYSETUP.EXE)をダブルクリックしてください。

2 [PC-MV3S/PCI デバイスドライバの削除] を選択し、[開始]をクリックします。

以降は画面に従ってアンインストールしてください。

付属ソフトウェア

この章では、付属ソフトウェアについての説明します。

ソフトウェアの概要

本製品には、次の5種類のソフトウェアが付属しています。

- WinDVR .... テレビを見たり、録画、予約、再生するのに必要なソフトウェアです。【P25】
- reserMail .... 携帯電話や遠隔地からインターネットを使用して録画予約できます。【P29】
- VideoStudio6 SE DVD .... デジタルビデオからの画像の取り込みと編集が可能です。【P32】
- PhotoImpact 7 SE .... 静止画の編集を行うソフトウェアです。【P34】
- Cool3D 3.0 SE .... 立体のタイトルを作成するソフトウェアです【P35】

「WinDVR」の操作方法や製品情報は、下記InterVideo Japan Inc. ユーザーサポートまでお問い合わせください。

お問い合わせ先　InterVideo Japan Inc. ユーザーサポート

電話：045-226-3899
受付時間　月～金　9:30～12:00／13:30～17:00（祝祭日、夏期・年末特定休業日を除く）
FAX：045-226-3895
インターネット：　http://www.intervideo.co.jp/
E-MAIL：　techsupp@intervideo.co.jp

※株式会社バッファローでは、「WinDVR」に関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

「reserMail」の操作方法や製品情報は、下記エイディシーテクノロジー株式会社までお問い合わせください。

お問い合わせ先　エイディシーテクノロジー株式会社

E-Mail：　support@epoint.co.jp（reserMailに関するお問い合わせ）
info@irate.co.jp（EPGサイトに関するお問い合わせ）

※株式会社バッファローでは、「reserMail」に関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

「VideoStudio6 SE DVD」、「PhotoImpact 7 SE」、「Cool 3D 3.0 SE」の操作方法や製品情報は、下記ユーリードシステムズ株式会社までお問い合わせください。

お問い合わせ先　ユーリードシステムズ株式会社

電話：03-5491-5662
受付時間　10:00～12:00／13:00～17:00（土曜、日曜、祝日、年末年始はお休みです。）
インターネット：　http://www.ulead.co.jp/tech/tech.htm
E-mail：　support@ulead.co.jp

※株式会社バッファローでは、「VideoStudio6 SE DVD」、「PhotoImpact 7 SE」、「Cool 3D 3.0 SE」に関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

WinDVR

テレビの映像を見たり、録画をするためにはWinDVRをインストールする必要があります。

メモ WinDVRの詳しい使いかたは、WinDVRのヘルプファイルを参照してください。

WinDVRでできること

● テレビの映像を見る
テレビの映像を見ることができます。

● 録画
テレビの映像を録画して、MPEG-2フォーマットで保存できます。

● 録画予約
お気に入りの番組を録画予約することが可能です。

● タイムシフト
録画中のものでも一時停止したり、巻き戻して再生できます。

● EPG
インターネットの番組ガイドを利用した録画予約ができます。

● 静止画のキャプチャ
テレビの映像などから静止画をキャプチャできます。

● DV機器からの取りこみ
DV機器から映像をキャプチャすることができます（WindowsXPの場合は、ServicePack1のインストールが必要です）。

インストール手順

WinDVRをインストールします。

注意 Windows2000をお使いの場合は、半角文字のユーザー名でログインしてください。全角文字のユーザー名（例：メルコ）でログインした場合、インストールできません。

1 ユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットします。

自動的に簡単セットアップの画面が表示されます。表示されない場合は、ユーティリティCD内の アイコン(EASYSETUP.EXE)をダブルクリックしてください。

2 [WinDVRのインストール]を選択し、[開始]をクリックします。

3 画面に表示されるメッセージに従って、WinDVRをインストールします。

メモ インストールの途中で以下の画面が表示されます。この場合、名前・所属・シリアル番号を入力し、[次へ]をクリックしてください。シリアル番号は、CD-ROMケースの表面に記載されている文字列です。

4 付属ソフトウェア

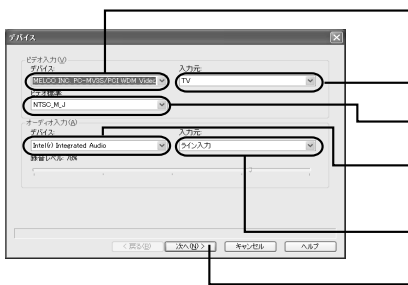
WinDVR の起動

⚠注意 WinDVRを起動するときは、本製品を接続しておいてください。また、WinDVRの起動中に本製品を取り外さないでください。

[スタート]－[(すべての)プログラム]－[InterVideo WinDVR]－[InterVideo WinDVR]と選択します。

初めて起動した時の設定

初めてWinDVRを起動したときに手順1の画面が表示されます。ここで、テレビチャンネルの設定を行いますので、以下の手順に従って設定してください。

1 ビデオ入力、オーディオ入力の設定を行います。

① デバイスに[MELCO INC. PC-MV3S/PCI WDM Video Capture]を選択します。

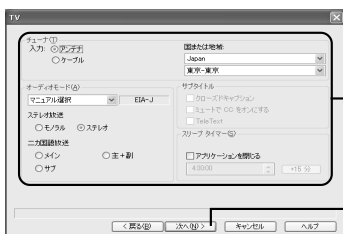
② 入力元に[TV]を選択します。

③ ビデオ標準に[NTSC_M_J]を選択します。

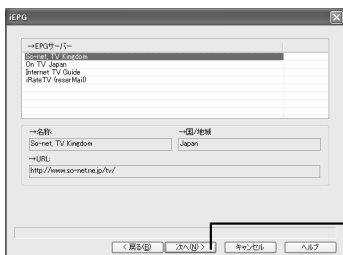
④ デバイスにお使いのサウンドカードを選択します。

⑤ 入力元に[ライン入力]を選択します。

⑥ [次へ]をクリックします。

2 TVチューナーの設定を行います。

① お使いの環境を選択します。
※「国または地域」の設定は、お住まいの場所に近い地域を選択してください。選択した地域の放送局名（テレビ局名）が設定されます。

② [次へ]をクリックします。

3 iEPGの設定を行います。

[次へ]をクリックします。

メモ お好きなiEPGサイトがある場合は、お好きなサイトを選択してから[次へ]をクリックしてください。

次のページへ続く

4 チャンネルの設定を行います。

① [オートスキャン]をクリックします。
※チャンネルのスキャンが始まります。

② チャンネルのスキャンが終了したら、[次へ]をクリックします。

メモ 表示された放送局名を変更したい場合は、変更したい放送局名をダブルクリックして、設定したい放送局名を入力してください。

チャンネルが検出されない場合

設定するチャンネルの「ステータス」をクリックし、♥を付けます。

この部分をクリックし、♥をつけます。

5

① 記憶領域の場所に録画したデータを保存するフォルダを指定します。

② [完了]をクリックします。

以上で設定は完了です。

4
付属ソフトウェア

WinDVRの使いかた

WinDVRの基本的な操作方法を説明します。

メモ 詳しい操作方法はWinDVRのヘルプを参照してください。

＜コントロールパネル＞

(1) [一時停止] ボタン .... 一時停止し、タイムシフトを開始します。

(2) [再生] ボタン .... 録画した映像を再生します。

(3) [停止] ボタン .... 再生、録画、タイムシフトなどを停止します。

(4) [録画] ボタン .... 録画を開始し、映像をMPEGフォーマットで保存します。

(5) [チャンネルアップ] ボタン ..... チャンネルを変更します。

(6) [最後のチャンネル] ボタン .... 最後に変更したチャンネルに変更します。

(7) [チャンネルダウン] ボタン .... チャンネルを変更します。

(8) [ミュート] ボタン .... オーディオのをON/OFFを切り替えます。

(9) [巻き戻し] ボタン .... 巻き戻しします。TVモードでは使用できません。

(10) [再生スピード] ボタン .... 早送りや巻き戻しの速度を調節できます。

(11) [早送り] ボタン .... 早送りします。TVモードでは使用できません。

(12) [ズームとパン] ボタン ... ズームインして、パン操作ができます。

(13) .... 前や次のチャプターに進みます（再生時のみ使用できます）。

(14) [チャプターリスト] ボタン ...... 再生リストを表示します。

(15) [静止画像ｷｬﾌﾟﾁｬ] ボタン . 現在表示されている映像の静止画をｷｬﾌﾟﾁｬします。

(16) [プログラム] ボタン . 再生リストを表示します。

(17) [ヘルプ] ボタン .... ヘルプを表示します。

(18) .... ウィンドウを最小化、最大化したり、閉じたりできます。

(19) [サブパネル] ボタン .... サブウィンドウを表示します。

アンインストール

アンインストールするときは、コントロールパネルの［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。その後、［InterVideo WinDVR］を選択して［追加と削除］をクリックします。

reserMail

reserMailは、インターネットを使用して遠隔地からの録画予約が行えるソフトウェアです。

注意 reserMailを使用するには、パソコンがインターネットに接続できる環境が必要です。また、一定間隔でインターネット上の予約情報を確認するため、常にパソコンの電源をONにしておく必要があります。

メモ
・reserMailの詳しい使いかたは、reserMailのヘルプを参照してください。
・reserMailのインストール、アンインストールはWinDVRのインストール、アンインストールと同時に行われます。

reserMailでできること

● 携帯電話からの録画予約
iモードまたはJ-SKYまたはEZweb対応の携帯電話から録画予約が行えます。

● インターネットからの録画予約
本製品を取り付けたパソコンはもちろん、他のパソコンからでも、インターネットの番組ガイドを利用した録画予約ができます。

reserMailの起動

［スタート］－［（すべての）プログラム］－［InterVideo WinDVR］－［reserMail］と選択します。

初めてお使いになるときは

reserMailを使用するには、ユーザ登録が必要になります。ユーザ登録をすると、IDとパスワードがメールで送られてきます。以下の手順でユーザー登録してください。

1 ［スタート］－［（すべての）プログラム］－［InterVideo WinDVR］－［reserMail］と選択します。

2 ［新規ユーザー］をクリックします。

以降は画面に従ってユーザ登録してください。ユーザ登録が完了したらreserMailの設定を行ってください。

reserMailの設定

reserMailの設定は、以下の手順で行います。この手順で「録画予約を確認する時間間隔」や「録画予約確認のメールの送付先」などの設定が行えます。

1 ［スタート］－［（すべての）プログラム］－［InterVideo WinDVR］－［reserMail］と選択します。

次のページへ続く

2

reserMail GP Ver.2.2 初期設定

新しくユーザーを登録する場合

新規ユーザー

アカウント登録

ID

パスワード

録画予約確認送付用メールアドレス（省略可）

接続先　接続先を選択

登録　キャンセル

Copyright(C)2001, ADC Technology,Inc.

①ＩＤ、パスワード、接続先を入力します（予約確認のメールを受け取る場合は、録画予約確認送付用メールアドレスも入力します）。

②［登録］をクリックします。

3 ［設定］をクリックします

4 設定内容を入力し、［設定］をクリックします。

5 ［閉じる］をクリックします。

以上でreserMailの設定は完了です。

放送局（テレビ局）名の設定

録画予約をするためには、WinDVRの放送局名の設定が必要です。詳しくは、reserMailのヘルプの「WinDVRでreserMailをご利用になるとき」を参照して、設定してください。

⚠注意
・正しく設定しないと正常に録画予約できません。必ず設定してください。
・iEPG(P46)をお使いになると、テレビ局名が変更されることがあります。このときは、再度設定してください。

携帯電話の録画予約設定

携帯電話から録画予約する場合、以下の手順で録画予約設定してください。

> **各携帯電話からの番組予約サービスは有料（※）です。あらかじめご了承ください。**
> 番組情報の閲覧は無料になります。また、パソコンからの番組予約は、無料でご使用いただけます。
> ※株式会社アイラテ(http://www.irate.tv/)の有料サービスです。

■ｉモード対応機種

1 ［iMenu］→［メニューリスト］→［テレビ/ラジオ/雑誌］→［テレビ番組情報］→［iテレビ/番組サーチ］を選択します。

「iテレビ」のトップ画面が表示されます。

2 ［メンバーページ］→［録画予約の設定］を選択します。

3 表示された画面をよく読んで、IDとパスワードを入力し、［登録］をクリックします。

以上で録画予約設定は完了です。

■ J-SKY対応機種

1 [J-スカイメイン]→[天気ニュース・メディア]→[TV]→[アイラテ]を選択します。

「アイラテ」のトップ画面が表示されます。

2 [メンバーページ]→[録画予約設定]を選択します。

3 表示された画面をよく読んで、IDとパスワードを入力し、[登録]をクリックします。

以上で録画予約設定は完了です。

■ EZweb対応機種

1 [ezメニュー]→[トップメニュー]→[ezネット]→[TV/メディア]→[全国TV]→[アイラテ]からのトップ画面に入ります。

「アイラテ」のトップ画面が表示されます。

2 [メンバーページ]→[録画予約の設定]を選択します。

3 表示された画面をよく読んで、IDとパスワードを入力し、[登録]をクリックします。

以上で録画予約設定は完了です。

携帯電話からの録画予約

携帯電話の録画予約設定が完了すると、携帯電話から録画予約できるようになります。以下の手順で録画予約をしてください。

⚠注意
- 録画予約をする前に、本製品を接続したパソコンでreserMailを起動しておいてください。携帯電話から予約した内容は、reserMailが起動していないと反映されません。
- 録画予約した情報はすぐに反映されません。予約した情報の反映が遅い場合には、「reserMailの設定」を参照して、「録画予約を確認する時間間隔」を確認してください。

1 アイラテのトップ画面を表示します。

アイラテのトップ画面の表示方法は、「携帯電話の録画予約設定」の手順1(P30)を参照してください。

2 各メニューから予約したい番組の詳細を表示し、[録画予約]ボタンを押します。

以上で録画予約は完了です。

インターネットからの録画予約

インターネットから録画予約する場合は、以下の手順で録画予約してください。本製品を取り付けたパソコンはもちろん、他のパソコンからでも録画予約できます。

⚠注意
- 録画予約をする前に、本製品を接続したパソコンでreserMailを起動しておいてください。インターネットから予約した内容は、reserMailが起動していないと反映されません。
- 録画予約した情報はすぐに反映されません。予約した情報の反映が遅い場合には、「reserMailの設定」を参照して、「録画予約を確認する時間間隔」を確認してください。
- テレビ局名が正しく設定できていない場合、チャンネルが「0」と表示されることがあります。このときは、正しいチャンネルを入力してください。

1 アイラテ(http://www.irate.tv/)に接続します。

2 ログインして、録画したい番組をクリックします。

以降は、画面に従って録画予約を行ってください。

VideoStudio6 SE DVD

⚠注意 VideoStudioでは、本製品を使ってキャプチャすることはできません。本製品でキャプチャするときは、WinDVRをお使いください。

VideoStudioでできること

- **DVカメラからの取り込み**
  DV機器からの映像をキャプチャすることができます。
- **動画、静止画の編集**
  要らない部分をカットしたり、様々な効果を加えることができます。
- **タイトルやテロップの作成**
  映像にタイトルを入れたり、テロップを入れたりすることができます。
- **DVD、VCD、SVCDの作成**
  映像をDVDやVCD(Video-CD)、SVCD(Super Video-CD)に保存することができます。

インストール手順

⚠注意 Windows2000をお使いの場合は、半角文字のユーザー名でログインしてください。全角文字のユーザー名(例:メルコ)でログインした場合、インストールできません。

1 ユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットします。

自動的に簡単セットアップの画面が表示されます。表示されない場合は、ユーティリティCD内の アイコン(EASYSETUP.EXE)をダブルクリックしてください。

2 [VideoStudio6.0 SE DVDのインストール]を選択し、[開始]をクリックします。

次のページへ続く

3 画面に表示されるメッセージに従って、VideoStudioをインストールします。

メモ インストールの途中で以下の画面が表示されます。必要に応じて、インストールするソフトウェアを選択してください。これらのソフトウェアのうち、すでに最新版をご使用の場合はインストールする必要はありません。

- Acrobat Readerは、簡単セットアップから最新版のインストールが行えますので、そちらをご使用ください。
- Quick Timeを選択すると、インストールの途中でユーザー登録番号の入力が求められます。すでにQuick Timeのユーザー登録を済ませている方は、その際に支給されたユーザー登録番号を入力してください。ユーザー登録されていない方は、何も入力せずに[OK]をクリックしてください。

起動方法

[スタート]－[(すべての)プログラム]－[Ulead VideoStudio 6]－[Ulead VideoStudio 6.0 SE DVD]を選択します。

使いかた

ユーティリティCD内の\UVS6\Document\Manual\Japaneseフォルダに収録されている、PDFファイル「VStudio6_OEM.pdf」を参照してください。

メモ
- PDFファイルを参照するためには、Acrobat Readerがインストールされている必要があります。インストールされていないときは、簡単セットアップからインストールしてください。
- アンインストールするときは、コントロールパネルの[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。その後、[Ulead VideoStudio 6.0 SE DVD]を選択して(*)[追加と削除]をクリックします。

  *「Quick Time」や「RealPlayer」をインストールした方は、同様の手順で[Quick Time]または[RealPlayer]を選択し、[追加と削除]をクリックしてください。

PhotoImpact7.0 SE

PhotoImpactでできること

● グラフィックやイメージの処理
グラフィックやイメージの編集を行うことができます。

● 写真補正
写真データからの歪みの除去やイメージの回転など、デジタルイメージの処理を行うことができます。

● Webページの作成
Webページを、コードを気にせずに作成することができます。

インストール手順

1 ユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットします。

自動的に簡単セットアップの画面が表示されます。表示されない場合は、ユーティリティCD内のアイコン(EASYSETUP.EXE)をダブルクリックしてください。

2 [PhotoImpact7.0 SEのインストール]を選択し、[開始]をクリックします。

以降は画面に従ってインストールしてください。

起動方法

[スタート]－[(すべての)プログラム]－[Ulead PhotoImpact 7]－[PhotoImpact 7]を選択します。

使いかた

ユーティリティCD内の\UPI7\Document\MANUAL\Japaneseフォルダに収録されている、PDFファイル「ALBUM-7 MANUAL.PDF」および「PI-7 MANUAL.PDF」を参照してください。

メモ
・PDFファイルを参照するためには、Acrobat Readerがインストールされている必要があります。インストールされていないときは、簡単セットアップからインストールしてください。

・アンインストールするときは、コントロールパネルの[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。その後、[Ulead PhotoImpact 7]を選択して[追加と削除]をクリックします。

Cool 3D 3.0 SE

3Dタイトルを作成するためのソフトウェアです。作成したタイトルは、VideoStudioで使用することができます。

インストール手順

1 ユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットします。

自動的に簡単セットアップの画面が表示されます。表示されない場合は、ユーティリティCD内のアイコン(EASYSETUP.EXE)をダブルクリックしてください。

2 [Cool 3D 3.0 SEのインストール]を選択し、[開始]をクリックします。

以降は画面に従ってインストールしてください。

起動方法

[スタート]－[(すべての)プログラム]－[Ulead COOL 3D 3.0]－[Ulead COOL 3D 3.0]を選択します。

使いかた

ユーティリティCD内の\C3D3\Manual\Japaneseフォルダに収録されている、PDFファイル「C3d3manual.pdf」を参照してください。

メモ
・PDFファイルを参照するためには、Acrobat Readerがインストールされている必要があります。インストールされていないときは、簡単セットアップからインストールしてください。

・アンインストールするときは、コントロールパネルの[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。その後、[Ulead COOL 3D 3.0]を選択して[追加と削除]をクリックします。

DirectXのインストール

DirectXをインストールするときは、以下の手順でインストールしてください。

メモ DirectXは、WinDVRのインストール時にインストールされるため、通常インストールする必要ありません。

1 ユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットします。

自動的に簡単セットアップの画面が表示されます。表示されない場合は、ユーティリティCD内のアイコン(EASYSETUP.EXE)をダブルクリックしてください。

2 [DirectX8.1のインストール]を選択し、[開始]をクリックします。

以降は画面に従ってインストールしてください。

5 使ってみよう

本製品の簡単な使い方を説明します。

お使いになる前に

本製品をお使いになるための注意事項を記載しました。お使いになる前に必ずお読みください。

● **あなたが録画・録音された映像や音声は、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使用できません。**
テレビ放送や録画物などの映像や音声は、著作権法で保護されています。

● **著作権保護用の信号（コピーガード等）付きの映像を録画することはできません。**
市販のDVD-Videoやビデオテープなど著作権保護用の信号付きの映像は、録画せずにお楽しみください。

● **大切な録画の場合は、あらかじめテスト録画を行い、画質や音声等に問題がないか確認することをお勧めします。**
万一、録画・録音されなかった場合の内容の補償については致しかねます。あらかじめご了承ください。
また、テスト録画をしたあとは、ハードディスクの空き容量が減少しますので、テスト録画したファイルを消去してからお使いください。

● **テレビやビデオを見たり、録画をするときは、他のアプリケーションを動作させないでください。**
テレビやビデオの映像を見たり、録画しているときはパソコンに大きな負荷がかかっています。他のアプリケーションを動作させた場合、システムが停止（ハングアップ）したり、コマ落ちしたり、音とびなどが起こることがあります。

● **4GB以上（Video-CDなどのプロファイルでは596MB以上）の映像を録画する場合、録画したファイルは分割して保存されます。**
ファイルを保存するハードディスクのファイルシステムがFAT32形式の場合、1ファイルの最大容量は4GBとなります。本製品では、4GB（Video-CDなどのプロファイルでは、596MB）を超える録画を行った場合、ファイルを分割して保存します。

メモ　ハードディスクのファイルシステムがNTFS形式（※）の場合、4GB以上のファイルでも保存できます。4GB以上のファイルを分割させたくない場合や、分割する容量を指定したい場合は、WinDVRのヘルプ「プロファイルの録画品質設定」を参照して、[システム]タブの[ファイル分割サイズ]の値を変更してください。

※ ファイルシステムをNTFS形式にできるのは、WindowsXP/2000のみです。WindowsMe/98SEではNTFS形式にできません。

テレビを見よう

テレビの映像を見る手順を説明します。

1 WinDVRを起動します。

[スタート]－[(すべての)プログラム]－[InterVideo WinDVR]－[InterVideo WinDVR]を選択します。

2 チャンネルボタンをクリックしてチャンネルをあわせます。

テレビとビデオの映像を切り替えよう

テレビの映像だけでなく、ビデオ機器の映像を見ることもできます。以下の手順で映像の切り替えができます。

1 WinDVRを起動します。

[スタート]－[(すべての)プログラム]－[InterVideo WinDVR]－[InterVideo WinDVR]を選択します。

2 をクリックし、[TV パネル]を選択します。

次のページへ続く

5 使ってみよう

3 をクリックします。

[TV]→[コンポジット]→[S-ビデオ]の順に切り替わります。

録画をしよう

映像を見ることができたら、録画してみましょう。

⚠注意 録画中は、他のアプリケーションを動作させないでください。他のアプリケーションを動作させた場合、システムが停止（ハングアップ）したり、正常に録画できないことがあります。

メモ DVD画質設定で録画を行う場合、プレビュー画面がコマ落ちすることがありますが録画されたファイルはコマ落ちせず録画されています。

録画する

1 WinDVRを起動して、録画したい映像を表示します。

2 をクリックます。

録画が始まります。

録画を終わるときは?

をクリックし、保存するファイル名を入力します。

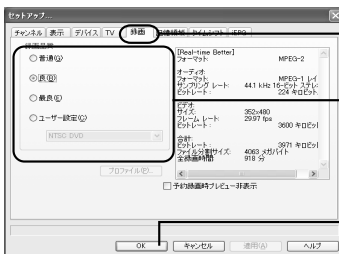
録画するプロファイル（録画品質）を指定するには

保存するファイルのプロファイル（録画品質）を選択できます。高画質に設定できたり、DVDやVCD（Video-CD）に書き込めるプロファイルを選択することもできます。

1 **WinDVRを起動します。**

2 **をクリックし、[TV パネル]を選択します。**

3 **をクリックします。**

4

メモ [予約録画時プレビュー非表示]にチェックマークをつけておくと、録画予約(P44）をした場合にプレビュー（録画している映像）を表示させずに録画できます。

5 使ってみよう

再生しよう

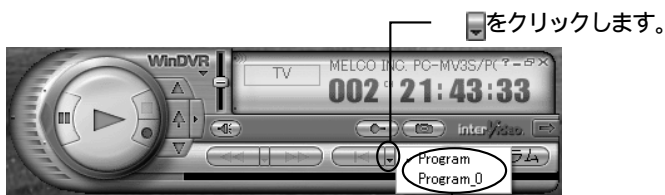
本製品で録画した映像や既にパソコンに保存してある映像を再生してみましょう。

本製品で録画した映像を再生する

本製品で録画した映像を再生するときは、以下の手順を行ってください。

1 WinDVR を起動します。

2 をクリックし、再生するファイルを選択します。

メモ 再生するファイルが表示されない場合は、「MPEG データを再生する」 の手順を行い再生してください。

MPEG データを再生する

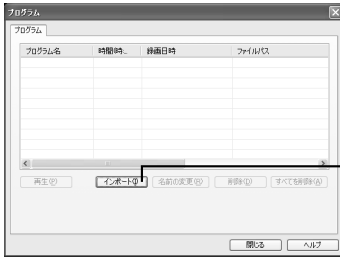
本製品で録画された映像でなくても再生することができます。 以下の手順で再生してください。

1 WinDVR を起動します。

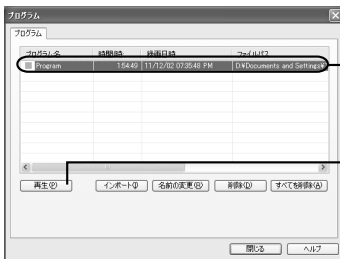
2 プログラムをクリックし、再生するファイルを選択します。

次のページへ続く

3

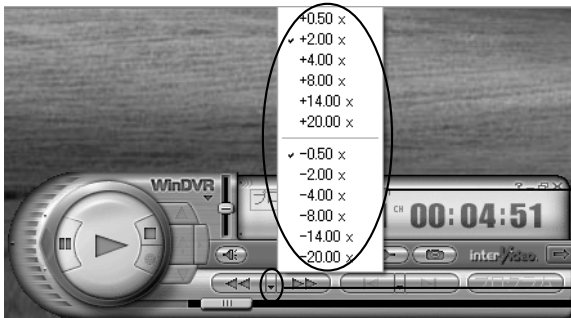
4

① 再生するファイルを選択（入力）します。

② [OK]をクリックします。

5

① 再生するファイルをクリックします。

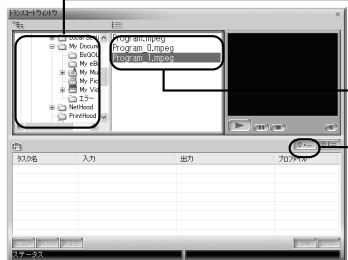
② [再生]をクリックします。

好みの速度で再生（早送り、巻き戻し）する

再生する速度を変更することも可能です。 以下の操作を行ってください。

① をクリックします。

② 再生する速度を選択します。
※[+0.50×]または[+2.00×]を選択した場合、音声付きで再生できます。

ファイル形式を変換しよう

WinDVR のトランスコード機能は、あるファイル形式（プロファイル）で録画したファイルを別のファイル形式に変換することができます。 例えば、MPEG1 で録画した映像ファイルを DVD フォーマットに変換するなど、1つの映像データを簡単に他のフォーマットに変換し、活用することができます。

⚠注意 ファイル形式の変換中はパソコンに大きな負荷がかかり、テレビ放送の映像や音声が途切れる場合があります。

1 WinDVR を起動します。

2 をクリックし、[全般パネル]を選択します。

① をクリックします。

② [全般パネル]をクリックします。

3

[トランスコード]をクリックします。

4

① 変換したいファイルがあるフォルダを選択します。

② 変換するファイルを選択します。

③ をクリックします。

5

① 追加された項目を選択します。

② をクリックします。

6

① 保存する場所を選択します。

② 変換するプロファイルを選択します。

③ [OK]をクリックします。

7

をクリックします。

ファイル変換が始まります。 ファイル変換が終了したら完了です。

録画予約しよう

外出しないといけないけど見たいテレビがある。 そんな時録画予約が便利です。

⚠注意 **録画予約の設定は、WinDVRを終了しても有効です。しかし、パソコンを切ってしまうと予約時間になっても録画されません。**

メモ
- あらかじめテスト録画を行い、 画質や音質等に問題がないかを確認することをお勧めします。
- 録画時にプレビューを表示させたくない場合は、「録画するプロファイル（録画品質）を指定するには」（P39）を参照してプレビューを非表示に設定した後、 以下の手順を行ってください。

1 WinDVRを起動します。

［スタート］ ― ［（すべての）プログラム］ ― ［InterVideo WinDVR］ ― ［InterVideo WinDVR］を選択します。

2 ⇨をクリックし、[TV パネル]を選択します。

② [TV パネル]をクリックします。

3 スケジュールをクリックします。

クリックします。

4

[作成]をクリックします。

次のページへ続く

5

① 録画する映像の設定を入力します。

② [次へ]をクリックします。

6

① 録画品質、 録画時間を入力します。

② [次へ]をクリックします。

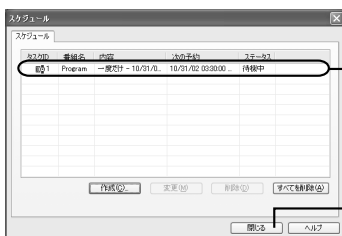
7

① 録画を行う日時を入力します。

② [次へ]をクリックします。

8

[完了]をクリックします。

9

① 予約した設定を確認します。

② [閉じる]をクリックします。

以上で録画予約は完了です。

5

使ってみよう

インターネットの番組表から録画しよう（iEPG）

インターネットの番組表（iEPG 対応のホームページに限る）から録画予約をしてみましょう。

⚠注意
- **この手順を行うには、パソコンがインターネットに接続できる環境が必要です。**
- **録画予約の設定は、WinDVR を終了しても有効です。しかし、パソコンを切ってしまうと予約時間になっても録画されません。**

1 WinDVR を起動します。

2 ⇨ をクリックし、[TV パネル]を選択します。

① ⇨ をクリックします。

② [TV パネル]をクリックします。

3 EPG をクリックします。

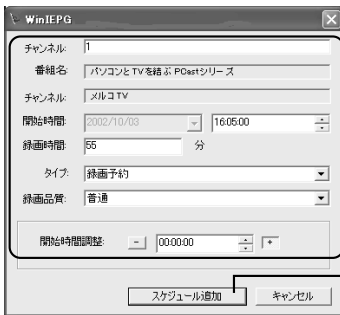
クリックします。

4 ホームページから、予約したい番組を選択します。

次のページへ続く

reserMail をお使いの方へ

インターネットの番組表から録画予約を行うと、WinDVR に設定した放送局名が変更されることがあります。放送局名が変更された場合は、再度テレビ局名を入力しなおしてください。変更されたままだと、reserMail を使った録画予約が正常に行われないことがあります。詳しくは、reserMail のヘルプにある「WinDVR で reserMail をご利用になるとき」を参照してください。

5

① 内容を確認します。

⚠注意 [チャンネル]に「0」と表示されていることがあります。このときは、正しいチャンネルを入力してください。

② [スケジュール追加]をクリックします。

メモ [開始時間調整]を設定すると、録画を開始する時間を調節できます。[+]に設定した場合は設定した時間だけ後に、[-]に設定した場合は設定した時間だけ前に録画を開始します。また、設定した値は保存され、次に予約するときも設定した値が反映されます。

以上で録画予約は完了です。

タイムシフトを使ってみよう

⚠注意 ・**タイムシフトを使用中は、パソコンに大きな負荷がかかっています。他のアプリケーションを動作させないでください。他のアプリケーションを動作させた場合、システムが停止(ハングアップ)したり、タイムシフトが正常に行われないことがあります。**

タイムシフトとは

テレビを見ているときに、トイレに行きたくなったり、来客があったりして、テレビを見ることを中断しなければならないことがあります。こんなときには、タイムシフトが便利です。タイムシフトを使えば、見逃したシーンを巻き戻して見たり、気に入ったシーンを繰り返し見ることが可能です。タイムシフト中の映像は録画されるため、後から再生して見ることができます。また、録画中の映像でも巻き戻して見ることができます。

タイムシフトを開始する

1 **WinDVRを起動し、お好きな映像を表示します。**

2 **▮▮をクリックします。**

画面が一時停止の状態となります。再度▮▮をクリックすると、一時停止した場面からの映像を再生します。

メモ ▮▮の操作は、キーボードの[スペース]キーでも行えます。

次のページへ続く

タイムシフトの操作は以下のとおりです。

(1) ■ .... タイムシフトを停止します。タイムシフト停止後、録画するファイル名を指定して保存してください（保存しない場合は[キャンセル]をクリックします）。

(2) [バー] .... バーを移動させ、特定の時間にジャンプします。

(3) ◁◁ .... 設定した時間を巻き戻して再生します。

(4) ▷▷ .... 設定した時間を早送りして再生します。

いらないシーンをカットしよう

いらないシーンをカットするには

いらないシーンをカットするためには、①「いらないシーンを分割する」、②「いらないシーンを削除する」、③「保存する」の3つの手順が必要です。例えば、テレビで映画を録画したときにCMをカットしたい場合は以下の手順を行います。

| 映画シーン | CM | 映画シーン | CM | 映画シーン |（元の映像）

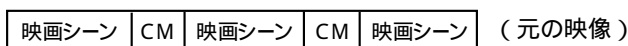
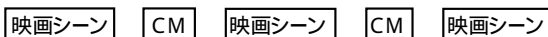
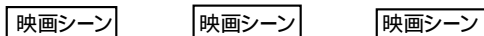
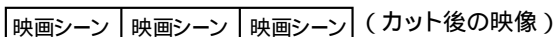
▼ ① いらないシーンを分割する

| 映画シーン | | CM | | 映画シーン | | CM | | 映画シーン |

▼ ② いらないシーンをカットする

| 映画シーン | | 映画シーン | | 映画シーン |

▼ ③ 保存する

| 映画シーン | 映画シーン | 映画シーン |（カット後の映像）

操作手順

1 VideoStudioを起動します。

［スタート］－［（すべての）プログラム］－［Ulead VideoStudio 6］－［Ulead VideoStudio 6.0 SE DVD］を選択します。

次のページへ続く

2

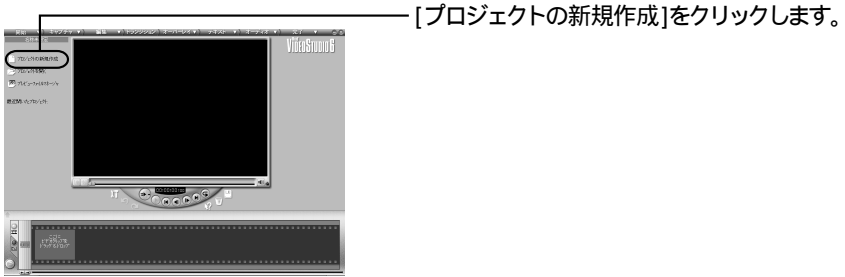
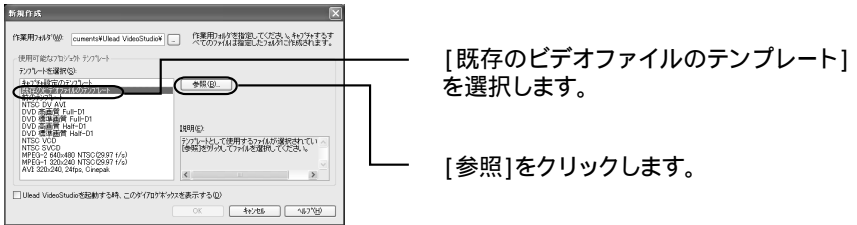
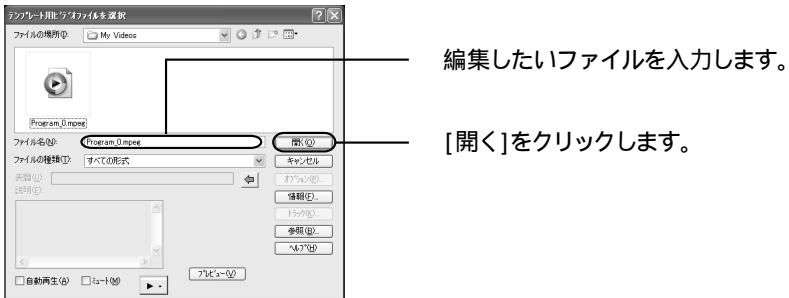
[プロジェクトの新規作成]をクリックします。

3

① [既存のビデオファイルのテンプレート]を選択します。

② [参照]をクリックします。

4

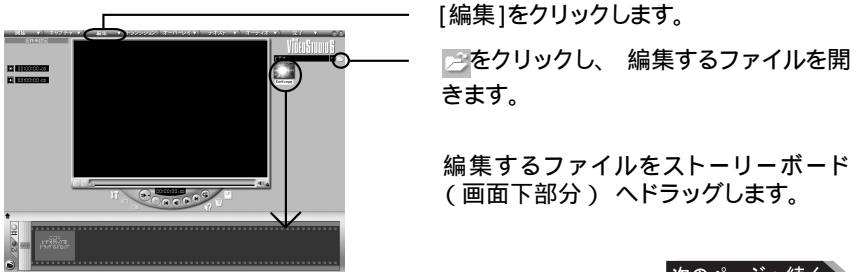
① 編集したいファイルを入力します。

② [開く]をクリックします。

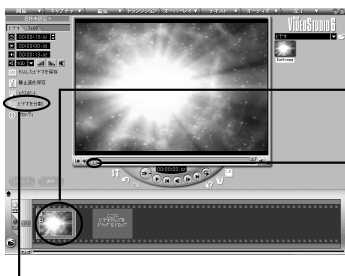
5 手順 3 の画面に戻ったら、[OK]をクリックします。

6

①[編集]をクリックします。

② をクリックし、 編集するファイルを開きます。

③ 編集するファイルをストーリーボード（画面下部分） へドラッグします。

次のページへ続く

7 いらないシーンを分割します。

① 分割したい映像をクリックします。

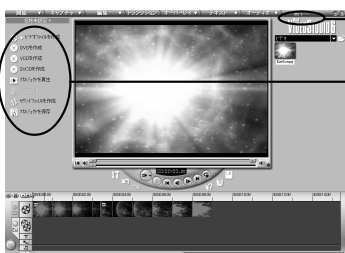
② [スライダーボタン]を動かし、 分割する場面を表示します。

③ [ビデオの分割]をクリックします。

8 分割する数だけ手順 7 を繰り返します。

9 いらないシーンを削除します。

いらないシーンを右クリックして、[削除]を選択します。

10

①[完了]をクリックします。

②作成するものをクリックします。

以降は、画面に従って保存します。

オリジナルDVD-Video/Video-CDを作ろう

オリジナルDVD-Video/Video-CDを作るには

DVD-VideoやVideo-CDを作成する場合、DVDやCDに書き込めるプロファイル（ファイル形式）は決まっています。そのため、録画するときにDVD-VideoやVideo-CDのプロファイルで録画しておくと便利です。DVDやCDに書き込む場合にプロファイルを変換することもできますが、書き込む前のプロファイルの変換に時間がかかります。以降では、DVD-VideoやVideo-CDのプロファイルで録画してDVD-VideoやVideo-CDを作成する手順を説明します。

DVD/VCD(Video-CD)のプロファイルで録画する

▼

録画した映像を編集する

▼

DVD/VCDに書き込む

手順説明

1 **WinDVRを起動します。**

2 **「録画しよう」を参照して、DVD、またはVCD(Video-CD)のプロファイルで録画します。**

3 **録画した映像を編集します。**

編集はVideoStudioで行います。詳しくは、VideoStudioのPDFファイルをごらんください。

4 **DVD、またはVCDに書き込みます。**

DVD、またはVCDへの書き込みはVideoStudioで行います。詳しくは、VideoStudioのPDFファイルをごらんください。

以上で、オリジナルDVD/VCDの作成手順は完了です。

6 付録

本製品のトラブルシューティングや、仕様を説明します。

困ったときは

おもなトラブルと対処方法について説明しています。これらの確認を行っても正常に動作しないときは、インフォメーションセンターへお問い合わせください。

ドライバのインストールができない

原因	対処
本製品が正しく接続されていない	パソコンの電源スイッチをOFFにし、本製品を取り付け直してください。
PCIバススロットの規格が違っている	本製品を接続しているPCIバススロットが「PCI Rev2.1」以降に準拠しているか確認してください。Revは、パソコンのマニュアルを参照するか、パソコンメーカにお問い合わせください。
本製品が正しく認識されていない(ドライバが正常にインストールされない)	P23を参照して本製品をアンインストールした後、P17を参照して再度インストールしてください。

映像が表示されない

原因	対処
配線が間違っている	P16を参照して正しく配線してしてください。
正しい入力を選択していない	P37を参照して、正しい入力を選択してください。
ビデオ機器を再生していない(ビデオ機器の映像を見る場合のみ)	ビデオ機器を再生してください。
ディスプレイドライバがハードウェアオーバーレイに対応していない	ディスプレイドライバを最新のものに更新してください。

付属ソフトウェアが起動しない

原因	対処
ディスプレイの設定が間違っている	ディプレイの解像度を800×600ドット以上、色がハイカラー以上に設定してください。

音声が出ない

配線が間違っている	P16を参照して正しく配線してしてください。
消音している、または音量を下げすぎている	音量を上げてください。
Windowsのボリュームコントロール設定の音量がミュート、または小さくなっている。	Windowsのボリュームコントロール設定で、ライン入力のミュートを外す、または音量を上げてください（ボリュームコントロール設定は、[スタート] - [（すべての）プログラム] - [アクセサリ] - [エンターテイメント（マルチメディア）] - [ボリュームコントロール]を選択すると起動します）。
WinDVRの設定が間違っている	WinDVRのヘルプにある「WinDVRの設定」 - 「プロパティのTVタブ」を参照し、オーディオモードが正しいか確認してください。また、ヘルプの[プロパティのデバイスタブ]を参照し、入力端子が「ライン入力」になっているか確認してください。

リモコンが動作しない

リモコン受光ケーブルの配線が間違っている	P16を参照して正しく配線してしてください。
リモコンの向きとリモコン受光部との向きが違う	リモコン受講部の向きにリモコンを向け、操作をしてください。
リモコンに電池が入っていない、または電池が切れている	リモコンに電池を入れる、または新しい電池に交換してください。

音声が途切れる

他のアプリケーションが動作している	他のアプリケーションが動いている場合、画面の動きが遅くなることがあります。その場合は、他のアプリケーションを終了してください。
DMAが設定されていない	P11を参照してハードディスクにDMAの設定を行ってください。
サウンドカードのドライバが最新ではない	サウンドカードのドライバを最新のものに更新してください。

画面の動きが遅い（コマ送りの状態になる）

他のアプリケーションが動作している	他のアプリケーションが動いている場合、画面の動きが遅くなることがあります。その場合は、他のアプリケーションを終了してください。
DMAが設定されていない	P11を参照してハードディスクにDMAの設定をおこなってください。

映像を録画、再生ができない

コピーガードがしてある映像を録画、または録画したものを再生している

コピーガードがしてある映像の録画した場合、正常に録画できません。そのため、録画したものを再生しても正常な映像は表示されません。

VideoStudioで録画している

本製品は、VideoStudioを使った録画には対応しておりません。WinDVRを使って録画してください。

テレビの音声にノイズがのる

リソースが競合している

P10を参照して、リソースを変更してください。

録画したファイルを再生できない、再生した映像が正しく表示されない

Windows Media Player8以下を使用している

Windows Media Player8以下をお使いの場合、映像の縦と横の比率が正しく表示されないことがあります。この場合は、マイクロソフト社のホームページから最新のWindows Media Playerをインストールしてください。最新のWindows Media Playerをインストールしても正しく表示されない場合は、WinDVRで再生してください。

WinDVR以外の再生ソフトを使用している

お使いの再生ソフト(Windows Media Playerを含む)によっては、正常に再生できない場合があります。正常に再生されない場合は、WinDVRで再生してください。

録画したファイルの音声にノイズが入ってしまう

録音レベルが大きすぎる

録音レベルが大きいと録画したファイルの音声にノイズが入ってしまうことがあります。「録音レベルの調整方法」(P56)を参照して、録音レベルを調節してください。

録画したファイルが分割される

WinDVRで録画した場合、録画したファイルが4GBを超える場合分割するように設定されています。4GB以上の映像も1ファイルで保存した場合は、WinDVRのヘルプ「WinDVRの設定」-「プロファイルの作成」-「プロファイルの録画品質設定」を参照して、[システム]タブの[ファイル分割サイズ]を変更してください。なお、4GB以上のファイルを保存できるのはハードディスクのファイルシステムがNTFS形式の場合のみです。FAT32形式では4GBを超えるファイルを保存できません。

タイムシフトを行うと映像と音声がずれてしまう

録画プロファイル(録画品質)のオーディオフォーマットがLPCIになっている

録画プロファイルのオーディオフォーマットが「LPCI」になっている場合、タイムシフトが正常に動作しないことがあります。タイムシフトを行う場合は、WinDVRのヘルプ「WinDVRの設定」―「プロファイルの作成」-「プロファイルの録画品質設定」を参照してオーディオフォーマットを変更してください。

DMAを設定後、Windowsが起動しない【WindowsMe/98SEのみ】

お使いのパソコンが対応していない	お使いのパソコンによっては、DMA転送に設定するとWindowsが起動しないことがあります。次の手順でDMAの設定を解除してください。 ①<ctrl>キーを押しながらパソコンの電源スイッチをONにします([Startup Menu]が表示されるまで押し続けてください)。 ②[Startup Menu]が表示されたら、[Safe Mode]で起動します。 ③デスクトップ画面の[マイコンピュータ]アイコンを選択し、マウスで右クリックします。 ④表示されたメニューから、[プロパティ]をクリックします。 ⑤[デバイスマネージャー]タブをクリックします。 ⑥[ディスク ドライブ]の中からお使いのハードディスクのデバイス名を選択し、[削除]をクリックします。 ⑦ Windowsを再起動します。

パソコンのシステムが停止(ハングアップ)する

他のアプリケーションを動作させている	本製品を使用して録画やタイムシフトを行っているときに、他のアプリケーションを動作させているとパソコンに大きな負荷がかかります。本製品で録画やタイムシフトを行うときは、他のアプリケーションを終了させてください。
高解像度で録画している	高解像度(NTSC DVDなど)で録画した場合、お使いの環境によってはパソコンに大きな負荷がかかり、システムが停止することがあります。その場合は、解像度を下げて録画してください。
画面を高解像度に設定している	画面の解像度を高く設定していると、パソコンに負荷がかかりシステムが停止することがあります。その場合は、画面の解像度を下げてください。

VideoStudioでレンタリングに時間がかかる

VideoStudioのスマートレンタリング機能を使用してレンタリングしてください。スマートレンタリング機能を使用すると、編集を行った部分のみレンタリングを行うため、通常のレンタリングよりも高速に行うことができます。詳しくは、VideoStudioのPDFファイルを参照してください。ただし、スマートレンタリング機能を使用するためには、編集するファイルを全て同じファイル形式(プロファイル)である必要があります。プロジェクトを新規に作成するとき、[テンプレート]で[既存のビデオファイルのテンプレート]を選択すると簡単にファイル形式を揃えることができます。

reserMailにログインできない、パスワードを忘れてしまった

パスワードを忘れてしまいreserMailログインできない場合は、以下の手順で再度IDとパスワードを取得してください。

①reserMailが常駐している場合は常駐を解除して終了させて下さい。
②C:\ProgramFiles\InterVideo\WinDVR\reserMailのなかにある「config」 フォルダを削除してください(下線部はWinDVRをインストールしたフォルダ)。
③再びreserMailを起動すると、最初のユーザー登録画面が表示され初期状態に戻ります。
④「初めてお使いになるときは」(P29)を参照して、再度IDとパスワードを取得してください。

6

付録

録音レベルの調節方法

録画した映像の音声にノイズが入っていたり(音割れが起こる)、音声が聞こえないまたは小さい場合は、録音レベルが適切でない可能性があります。以下の手順で録画レベルを調節してください。

1 **WinDVRを起動します。**

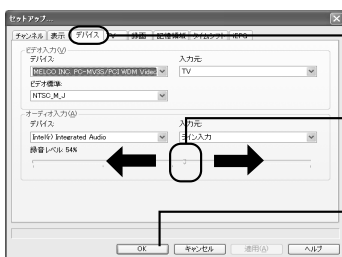
2 **をクリックし、[TV パネル]を選択します。**

① をクリックします。

② [TVパネル]をクリックします。

3 **をクリックします。**

クリックします。

4

① [デバイス]をクリックします。

② ゲージを動かし録音レベルを調節します。

③ [OK]をクリックします。
この画面が消え、 手順3の画面に戻ります。

メモ ③で[適用]をクリックすると、この画面を消さずに設定を反映できます。

以上で録音レベルの調節は完了です。録画レベルが適切な値になっているかは、次ページの「録音レベルの確認」で確認してください。

録音レベルの確認

録音レベルを変更した後、適切な値に調節されているか確認することができます。以下の手順で確認を行ってください。

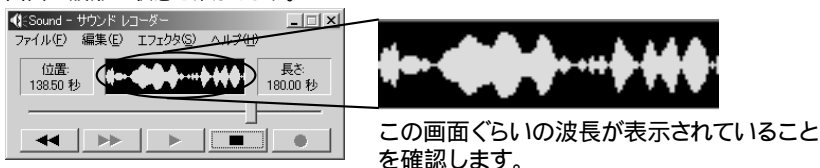
⚠注意 事前に録画する映像をWinDVRで表示させてください。入力する機器やお使いの環境によって、音声のレベルが異なります。

1 ［スタート］-［（すべての）プログラム］-［アクセサリ］-［エンターテイメント］-［サウンドレコーダ］をクリックします。
サウンドレコーダが起動します。

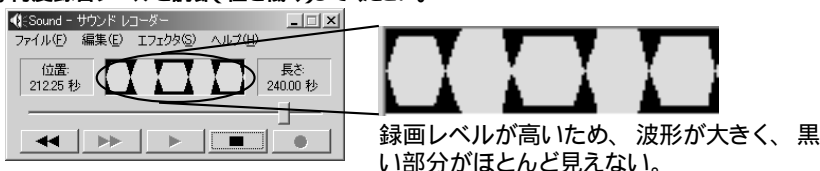
2

をクリックします。

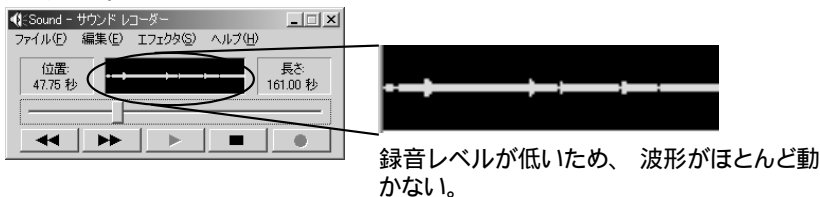
3 画面の波形の状態を確かめます。

この画面ぐらいの波長が表示されていることを確認します。

●録音レベルが高い場合

以下の画面のように緑色の波形が大きく、黒い部分がほとんど見えない（波形が上下に切れている）場合は、録音レベルが高いため、録画すると音声に音割れ（ノイズ）が発生する可能性があります。再度録音レベルを調節（値を低く）してください。

録画レベルが高いため、 波形が大きく、 黒い部分がほとんど見えない。

●録音レベルが低い場合

以下の画面のように緑色の波形がほとんど動かない場合は、録音レベルが低いため、録画を行っても音声が聞こえなかったり、小さかったりする可能性があります。再度録音レベルを調節（値を高く）してください。

録音レベルが低いため、 波形がほとんど動かない。

仕様

メモ **最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。**

PCIインターフェース	・Rev2.1以降 ・プラグアンドプレイ対応
ビデオ分解能	10bit
TVアンテナ入力	F型コネクタ（入力インピーダンス75Ω）
受信チャンネル	VHF：1～12ch　UHF：13～62ch
TV音声	ステレオ／2ヶ国語対応（EIAJ方式）
外部入力方式	NTSC（日本国内仕様）
コンポジットビデオ入力	RCAピンジャック
Sビデオ入力	ミニDIN4ピン
オーディオ入力	ステレオミニジャックφ3.5mm
オーディオ出力	ステレオミニジャックφ3.5mm
リモコン端子	ステレオミニジャックφ2.5mm
動画キャプチャ解像度	80×60 ～ 720×480（14段階）
動画圧縮形式	MPEG-1、MPEG-2
動画ビットレート	100Kbps～14600Kbps
音声圧縮形式	MPEG-1レイヤー2
音声ビットレート	64Kbps～224Kbps
リモコン到達距離	リモコン受光部より5m及び上下左右15度
最大消費電力	7W（ポートからの供給電力除く）
動作環境	温度：0～40℃　湿度：20～85%(結露なきこと)
外形寸法	120(W)×107(H)×15(D)mm
重量	約140g
CPU	PentiumⅢ600MHzまたはAMD Athlon600MHz以上
メモリ	64MB以上（WindowsXP/2000の場合は128MB以上）
ハードディスク	1054MB以上の空き容量（ソフトウェアインストール時）
グラフィックカード	ハードウェアオーバーレイ表示可能なグラフィックカード （AGP接続を推奨）
対応パソコン	PCIバス(Rev.2.1以降)を搭載するDOS/V機(OADG仕様)、 およびNEC PC98-NXシリーズ
対応OS	WindowsXP、Windows2000、WindowsMe(Millennium Edition)、 Windows98SE(Second Edition)

※ 音声の出力には、パソコン側のサウンド機能が必要です。

お問い合わせ・修理窓口

お問い合わせ、修理については、以下の順にてお願い致します。

1 **マニュアル、オンラインガイドにて設定内容・トラブルシューティングをご確認ください。**

2 **弊社ホームページにて最新Q&A情報、最新ドライバ・ファームウェアをご確認ください。**

インターネット

製品情報　buffalo.jp
サポート情報　86886.jp（ハローバッファロー）

3 **上記で改善しない場合は、次の窓口にお問い合わせください。**
バッファローサポートセンター

お問合せの際は、以下「必要な情報」③～⑦をあらかじめご確認ください。

電話でのお問い合わせ先　※電話番号のお掛け間違いがないようご注意ください。

【電話窓口】

電話番号　(東　京)　03-5781-7260　月～金　9:30-19:00　土　9:30-18:00
電話番号　(名古屋)　052-619-1188　月～金　(祝日除く) 9:30-17:00

手紙でのお問い合わせ先　住所　〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15

4 **修理は、以下へご依頼ください。**　※修理に送られる際、弊社への事前連絡は不要です。
バッファロー修理センター

保証書について　修理送付前に本製品添付の保証書記載の保証契約約款をよくお読み下さい。
修理web予約　弊社ホームページより修理のweb予約、受付けた修理品の状況確認が可能です。
http://buffalo.jp/shuri/
送付先住所　〒456-0023　愛知県名古屋市熱田区六野二丁目１番３号　中京倉庫２７号棟
株式会社バッファロー修理センター　受付宛
電話番号　052-883-0570　※ご依頼の修理品に関するお問合せのみ承っております。
送付いただく物　本製品、本製品付属品、保証書（原本）、修理票(*)
*修理票は弊社ホームページよりダウンロード可能です。修理票添付が困難な場合は、以下「必要な情報」を記載した資料を製品と一緒にお送りください。

【注意事項】

※発送は宅配便等控えが残る方法にてお送りください。控えが残らない郵送は固くお断りします。
※修理依頼時の送料は、送り主様の負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故においては、弊社は責任を負いかねます。輸送会社に保証していただくなどの措置をお取りください。
※ハードディスク、フラッシュメモリ等の記憶装置内のデータは保証できませんので、修理に送付される前に予めお客様にてバックアップをとっていただきますようお願いします。
※AirStation、BroadStation、Link Stationは、修理の際に出荷時の状態に戻す為、設定内容（接続ユーザ名/パスワード/無線暗号キー（WEP）等）を消去します。
修理完了後、再度設定が必要となりますので、ご送付前に必ず設定内容を控えてください。
※修理期間は、製品の到着後10日程度（弊社営業日数）を予定しております。

5 **ユーザ登録について**
弊社ホームページ（https://online.buffalo.jp/）ユーザ登録が可能です。

※ユーザ登録された方には、弊社製品に関する情報をお届けします。

必要な情報

①返送先（氏名・住所・電話番号(内線)・FAX番号）
②平日昼間の連絡先
（氏名・住所・電話番号(内線)・FAX番号）
③バッファロー製品名
④バッファロー製品のシリアルナンバー
⑤具体的な症状／エラーメッセージ
⑥発生状況（初めから・ある日突然等）、
発生頻度（必ず、時々、時間が経つと等）
⑦ご使用環境(パソコン機種名、OS(Windows XP等)、周辺機器)
⑧製品以外の添付品(ACアダプタ、ケーブルなど)

※受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の内容は、弊社ホームページでご確認ください。
※This product supports only Japanese language.
Technical and customer support is limited to Japan only.
This product supports Japanese language Operating Systems ONLY.